

第2回

川越駅西口市有地利活用勉強会

～西口市有地に導入する機能及び施設について～

日時：平成25年11月29日（金）
午後2時00分～午後4時00分
場所：川越駅西口まちづくり推進室

1. 川越駅西口市有地を取り巻く環境について

1-1 上位計画等からの整理

上位計画等における位置付け、川越駅西口の現況、都市を取り巻く社会経済情勢の変化を踏まえ、川越駅西口まちづくりの方向を示す。

- 土地利用
 - ・ **土地の高度利用**や**交通渋滞の緩和**を図り、周辺地域と連携した広域拠点の形成を目指す。（第三次川越市総合計画）
 - ・ 周辺の公有地や工場跡地等の**低未利用地を活用し、県南西部地域の中核拠点地区にふさわしい土地利用**の実現を目指す。（川越市都市計画マスタープラン）
 - ・ 交通利便性の高い市有地の有効活用として、公共サービス機能の充実を図る。また、広域業務・行政サービス、商業・サービス施設等の立地集積を誘導し、**駅前としてのにぎわいの形成と県南西部地域の中核を担うエリアの形成**を図る。（川越駅西口周辺地区基本構想（川越駅西口グランドデザイン））

- まちづくり（中心市街地活性化）
 - ・ 中心市街地活性化の観点から**地域の活力とにぎわいの創出**を目指す。（川越市中心市街地活性化基本計画）

1-2 市有地周辺の事業進捗状況からの整理

市有地周辺には、駅前広場、西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）及び県地方庁舎の事業が進められている。

これらの事業進捗と整備させる施設の導入機能や施設を勘案する必要がある。

表. 関連事業の経過

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市有地	川越駅西口 周辺地区 基本構想 3月		都市計画部 内検討	庁内検討 委員会			
西口駅前広場					完成予定 3月		
西部地域振興 ふれあい拠点 施設(仮称)						完成予定 1月	
県地方庁舎							拠点施設への移転

1-3 社会経済情勢からの整理

第1回勉強会資料にも整理したように、社会経済情勢を踏まえた、まちづくりへの対応を勘案することが求められる。

➤ 社会潮流

- ・人口減少、少子高齢化社会への対応
- ・都市構造のコンパクト化
- ・駅周辺の多様な機能（交通・商業・業務・交流等）の強化・連携
- ・防災・減災意識の高まり
- ・官民協働による都市の活力創造
- ・高度情報化（ICT）の進展
- ・厳しい財政状況と公的不動産の適切なマネジメント

1-4 市民等からのご意見

市民等から出されている主な意見を以下に示す。

➤ 導入機能

- ・交通結節点
例）バスターミナル（関越道も近く近隣主要駅にないため）、送迎バス
- ・自転車駐車場
- ・公共機能を導入し、市民が集まる施設
- ・若者が集まる拠点、集客効果のある施設
例）公園、オープンスペース、ホール、映画館
- ・地元と共存共栄できる施設
- ・防災・防犯のための土地利用 例）避難場所
- ・行政機能
- ・ビジネス機能
- ・国際観光都市として宿泊施設（ホテル）
- ・施設は立体的な利用
- ・歩行者デッキの延伸

➤ 西口まちづくりの方向性

- ・明るさや潤いのある川越の玄関口
- ・交通の要衝
- ・西口はビジネス、東口は商業

➤ **検討方法・考え方など**

- ・「点」ではなく「面」で考える
- ・「市有地」「県地方庁舎」「都市計画道路」を一緒に考える
- ・西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）への人の流れを考慮する
- ・電車で来る人をターゲットに
- ・指導を廃止してA・B街区を一体に考える
- ・観光都市川越市の顔が見える駅前にするなど、総合的に市有地利活用方策を検討
- ・広く市民からの意見をもらう
- ・若い世代のニーズに合った施設を整備すべき
- ・民間活用を検討してほしい
- ・何かがあれば何かを誘致できる、といった視点で考えることが必要

➤ **その他**

- ・都市計画道路の早期整備を望む
- ・県地方庁舎の跡地利用を考えるべき
- ・現、自転車駐車を無くす場合、どこで確保するか課題
- ・仮設バス乗降場を無くす場合、駅前だけで乗降機能をまかないきれるか課題
- ・観光バスや送迎バスの運行には秩序が必要

2. 川越駅周辺の施設立地状況

(1) 交通結節点・交通アクセス機能

川越駅西口駅前広場は、平成25年度末、工事完了・供用開始予定である。

川越駅のバス乗降場は、川越駅西口及び東口駅前広場、川越駅西口市有地にある。

自転車駐車場の既存施設としては、市有地から半径500m以内の駅西口には、6ヶ所（川越駅西口第一自転車駐車場、川越駅西口第二自転車駐車場、サイクルタイムズ川越駅西口駐輪場、川越駅西口サービス、川越駅西口駐輪場、らくだプラザ脇田本町No.2）がある。また、駅東口には5ヶ所（川越駅東口自転車駐車場、川越モディ指定駐輪場、川越駅東口前駐車場、川越駅東口駐輪場（アトレ）、東武ストア川越店自転車置場）がある。

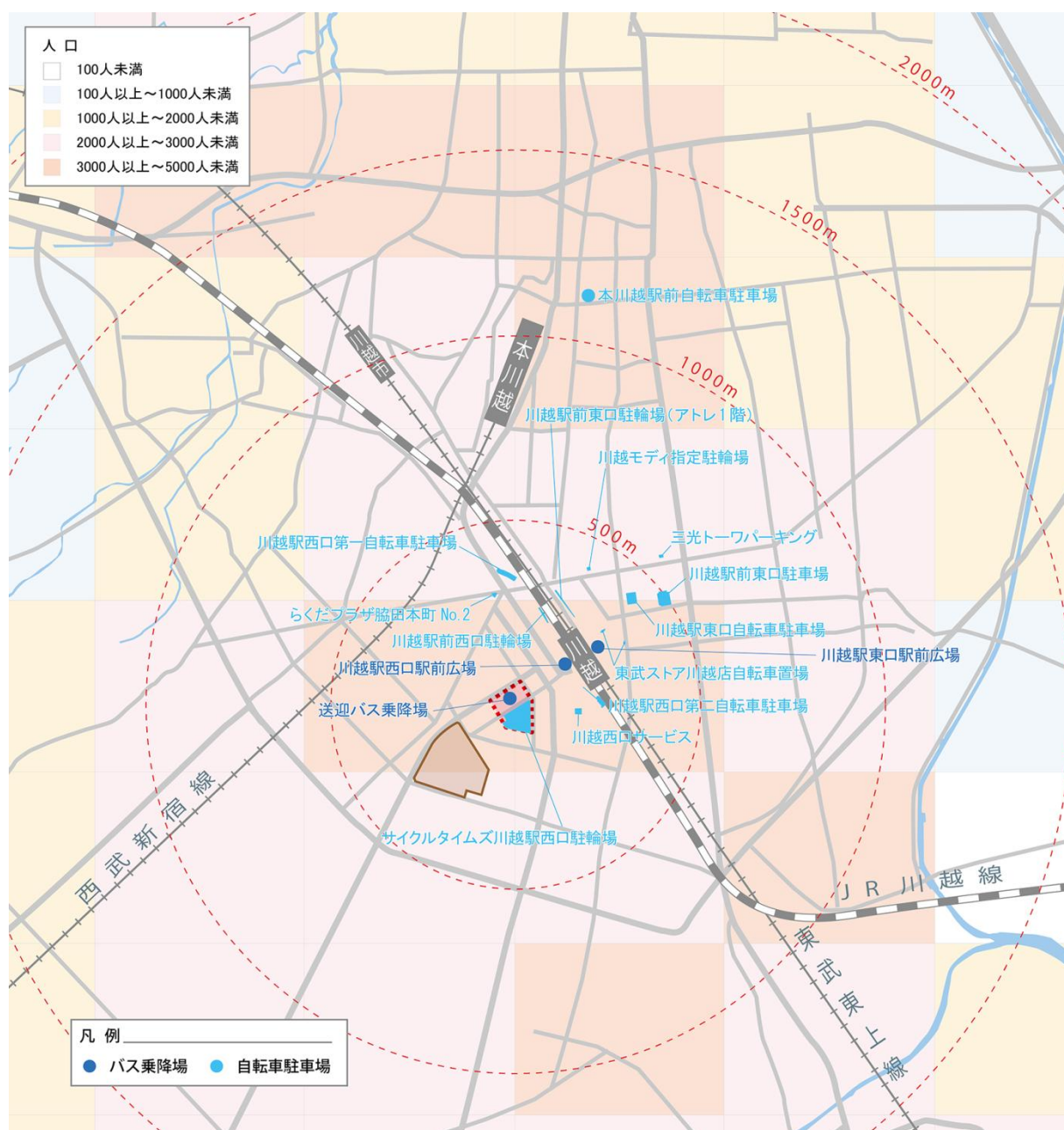


図. 川越駅周辺にあるバス乗降場及び自転車駐車場

(2) オープンスペース機能

既存施設としては、市有地から半径500m以内の駅西口には、脇田本町公園、御野立の森公園がある。また、駅東口には、川越駅東口緑地、菅原神社がある。

西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）には、交流広場が整備される予定である。

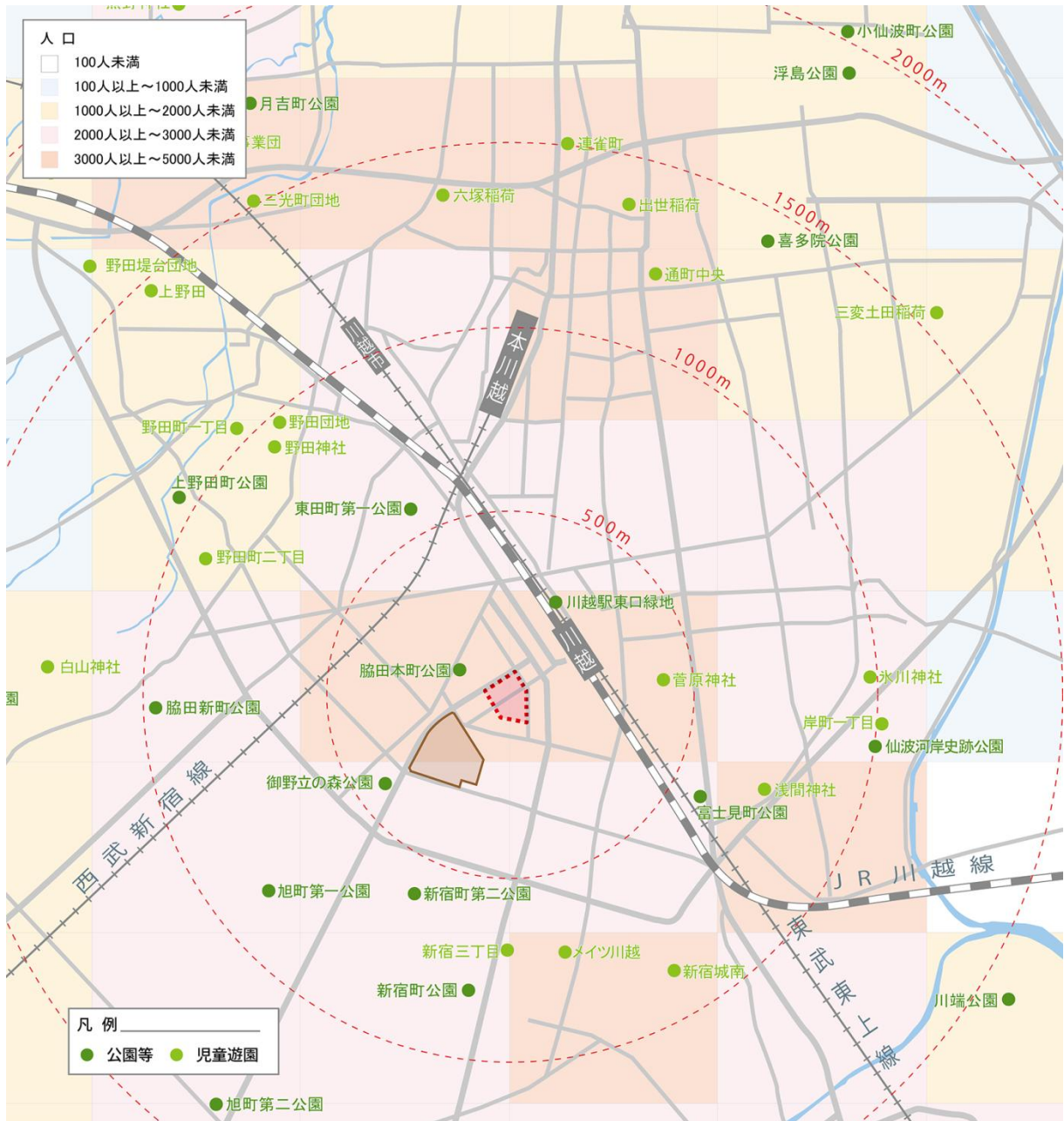


図. 川越駅周辺にある公園等

(3) 行政機能

既存施設としては、市有地から半径500m以内の駅西口には、県地方庁舎がある。また、駅東口には、南連絡所がある。

西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）には、市の施設として証明書発行サービスが行われる予定である。

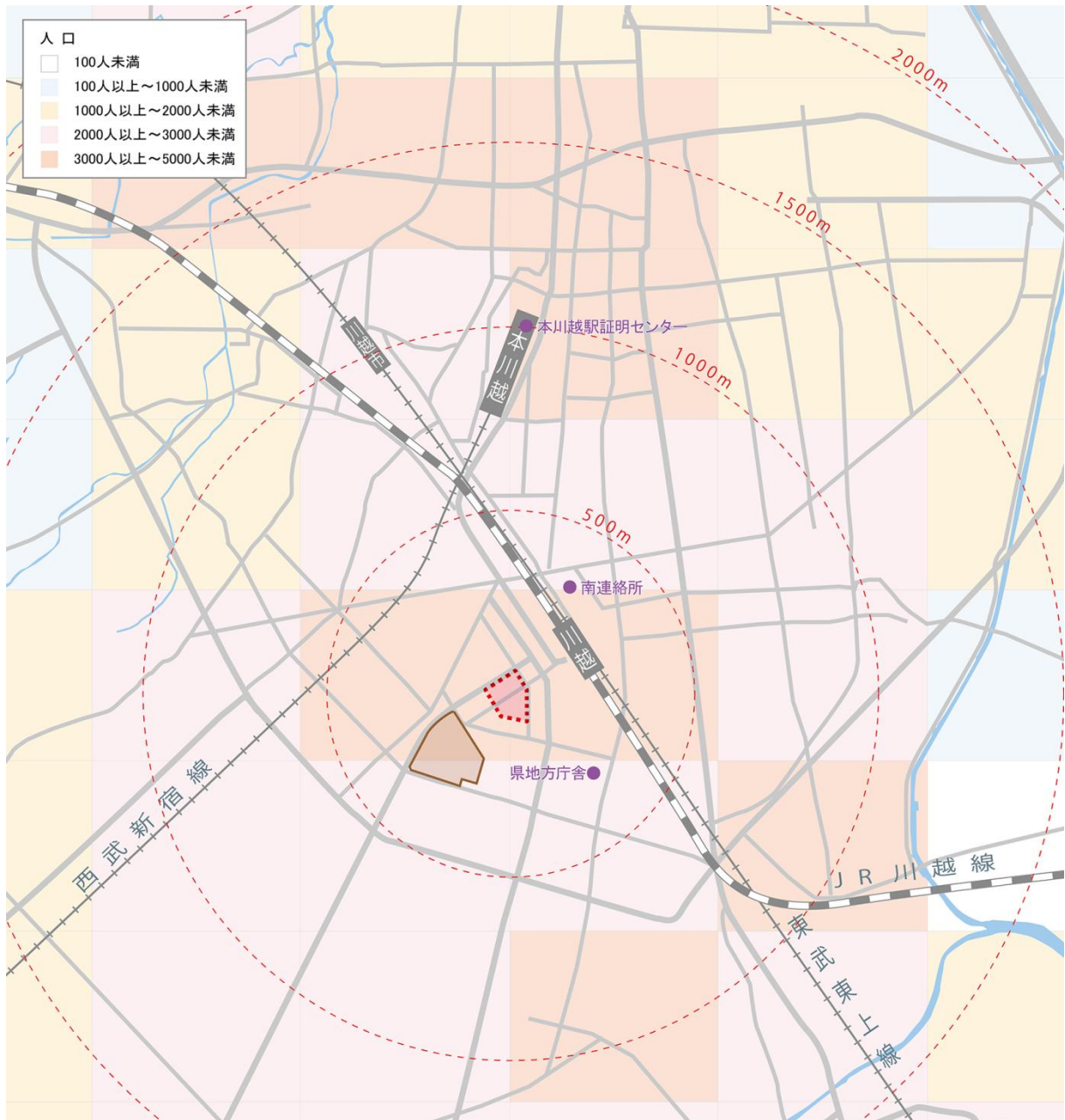


図. 川越駅周辺にある行政施設

(5) 医療サービス機能

既存の病院は、市有地から半径500m以内の駅西口には2ヶ所、駅東口には1ヶ所ある。
西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）には、クリニックが開業される予定である。

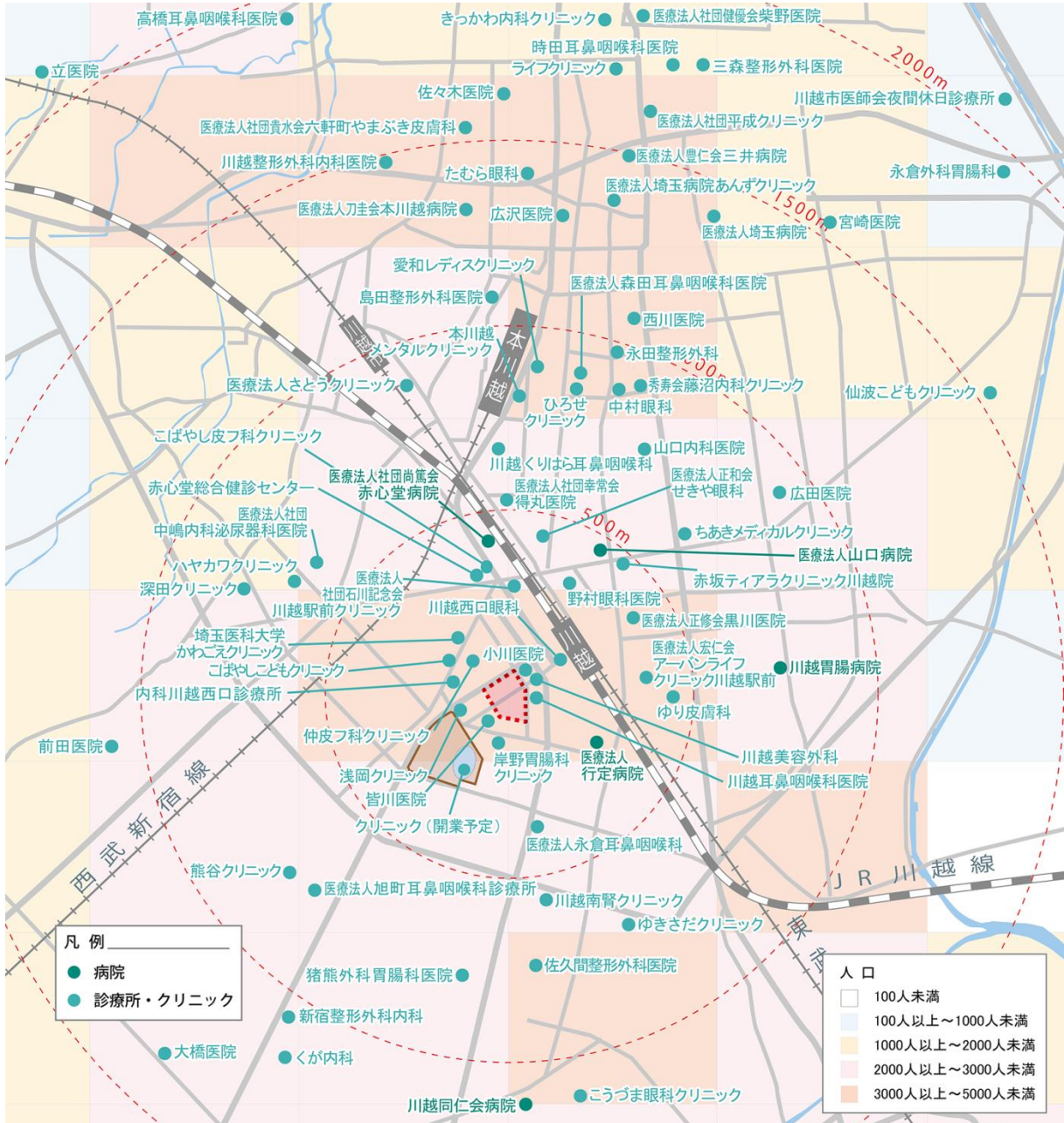


図. 川越駅周辺にある医療サービス施設

(6) 健康増進機能

既存施設としては、市有地から半径500m以内の駅東口には、スポーツクラブがある。
西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）に、フィットネス施設が開業される予定である。

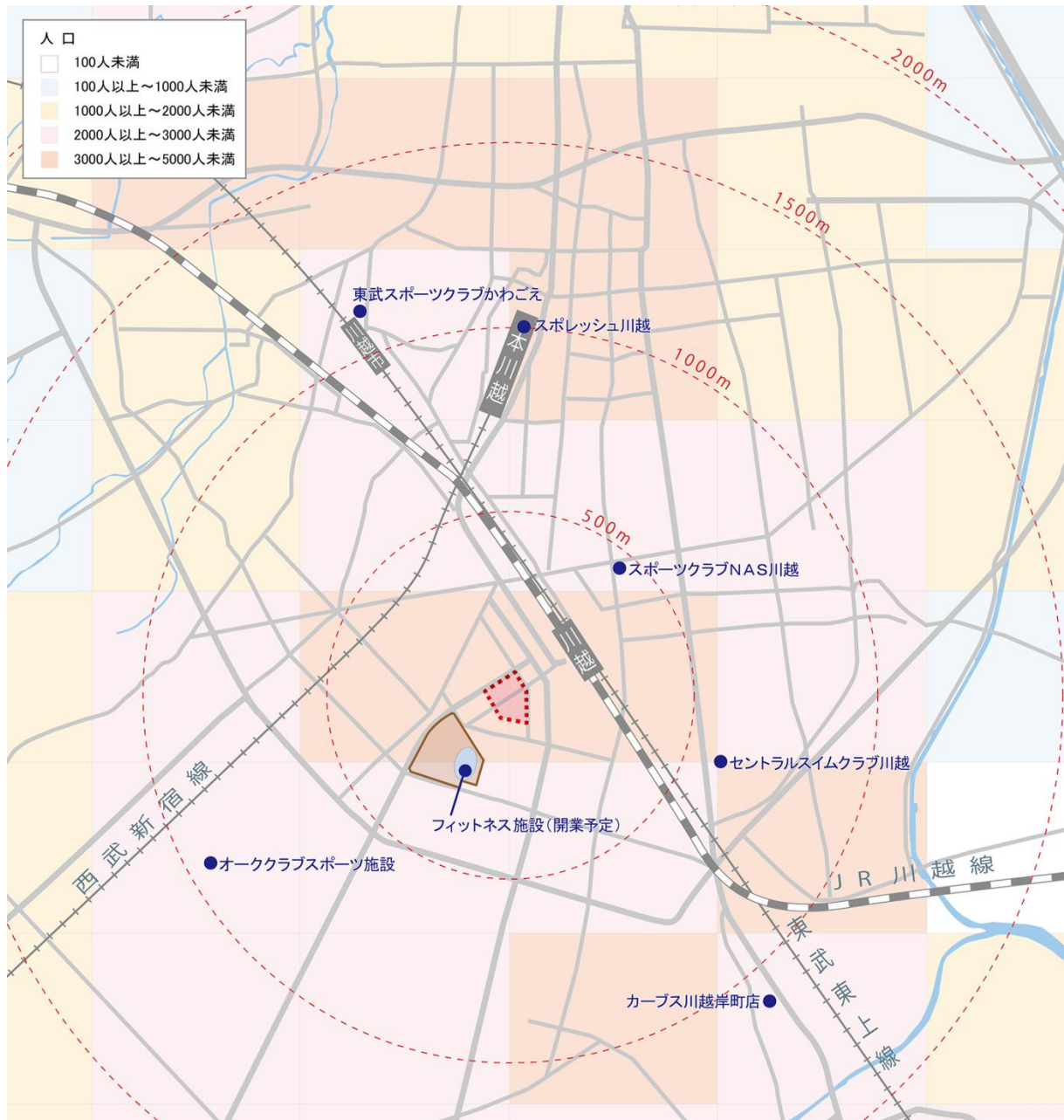


図. 川越駅周辺にあるスポーツクラブ等

(7) 高齢者福祉機能

既存施設としては、市有地から半径500m以内では、駅東口に駅東口老人憩いの家（クラッセ川越3階）がある。

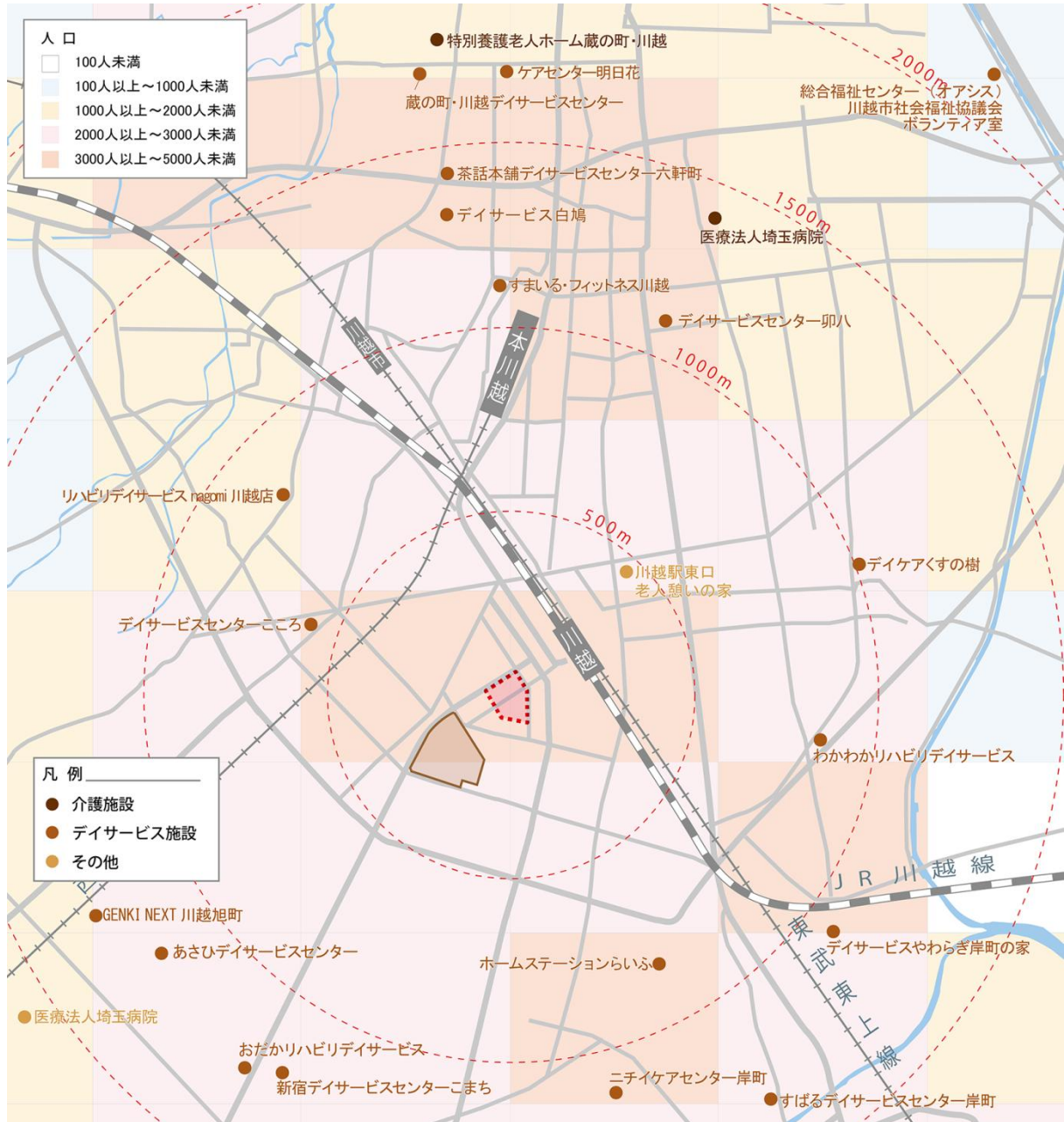


図. 川越駅周辺にある高齢者福祉施設

(8) 子育て支援機能

既存施設としては、市有地から半径500m以内の駅西口には、家庭保育室1園及び幼稚園1園がある。また、駅東口には、保育園1園、家庭保育室1園、児童館1館がある。

西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）には、保育園が開業される予定である。

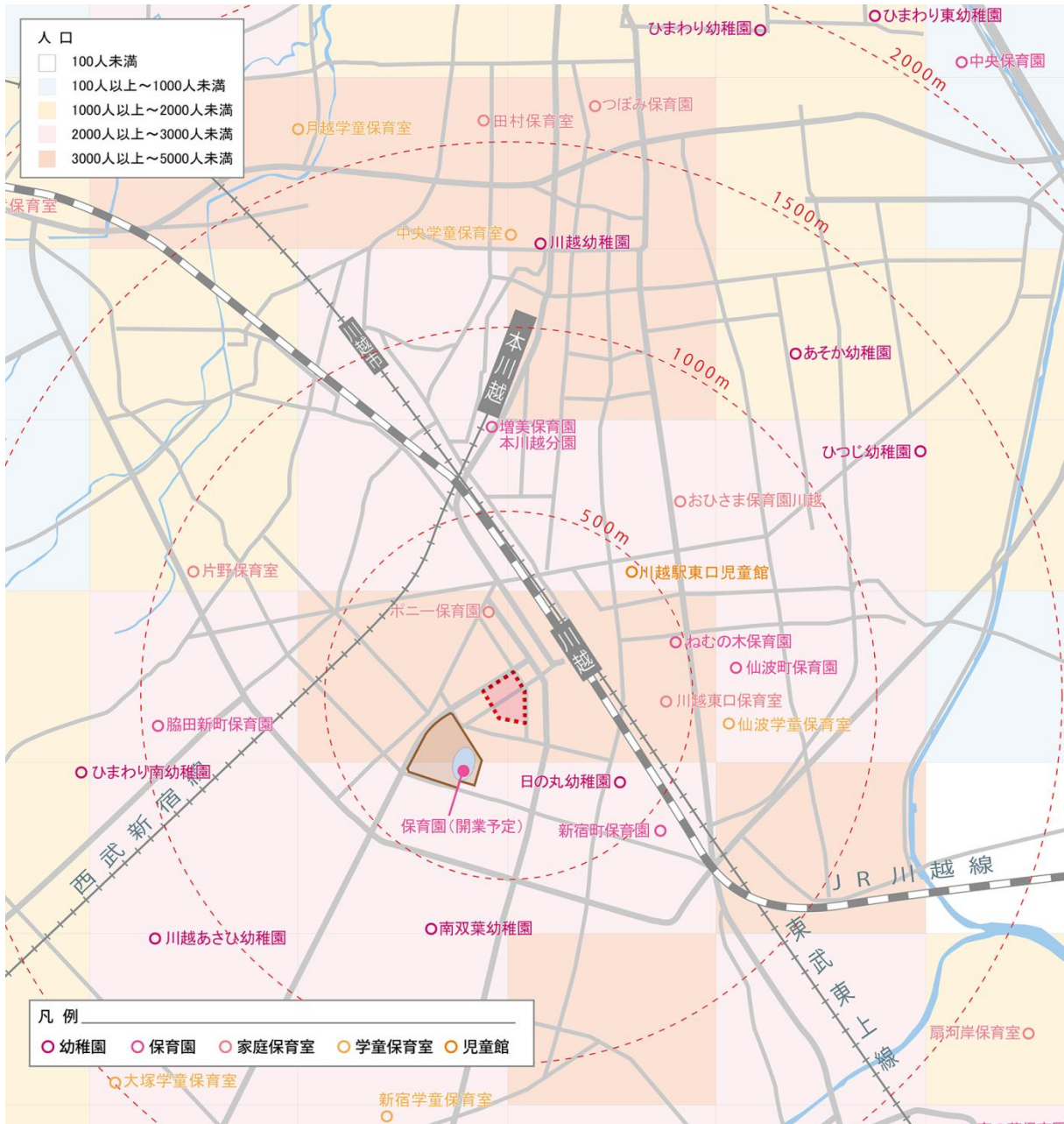


図. 川越駅周辺にある子育て支援施設

(9) 商業機能

既存施設としては、市有地から半径500m以内の駅西口には、百貨店・専門店、食品スーパーが立地している。また、駅東口にも、百貨店・専門店、食品スーパーが立地するほか、賑わいのある商店街クレアモールもあり、商業機能が充実している。

西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）には、食品スーパーやレストランが開業される予定である。

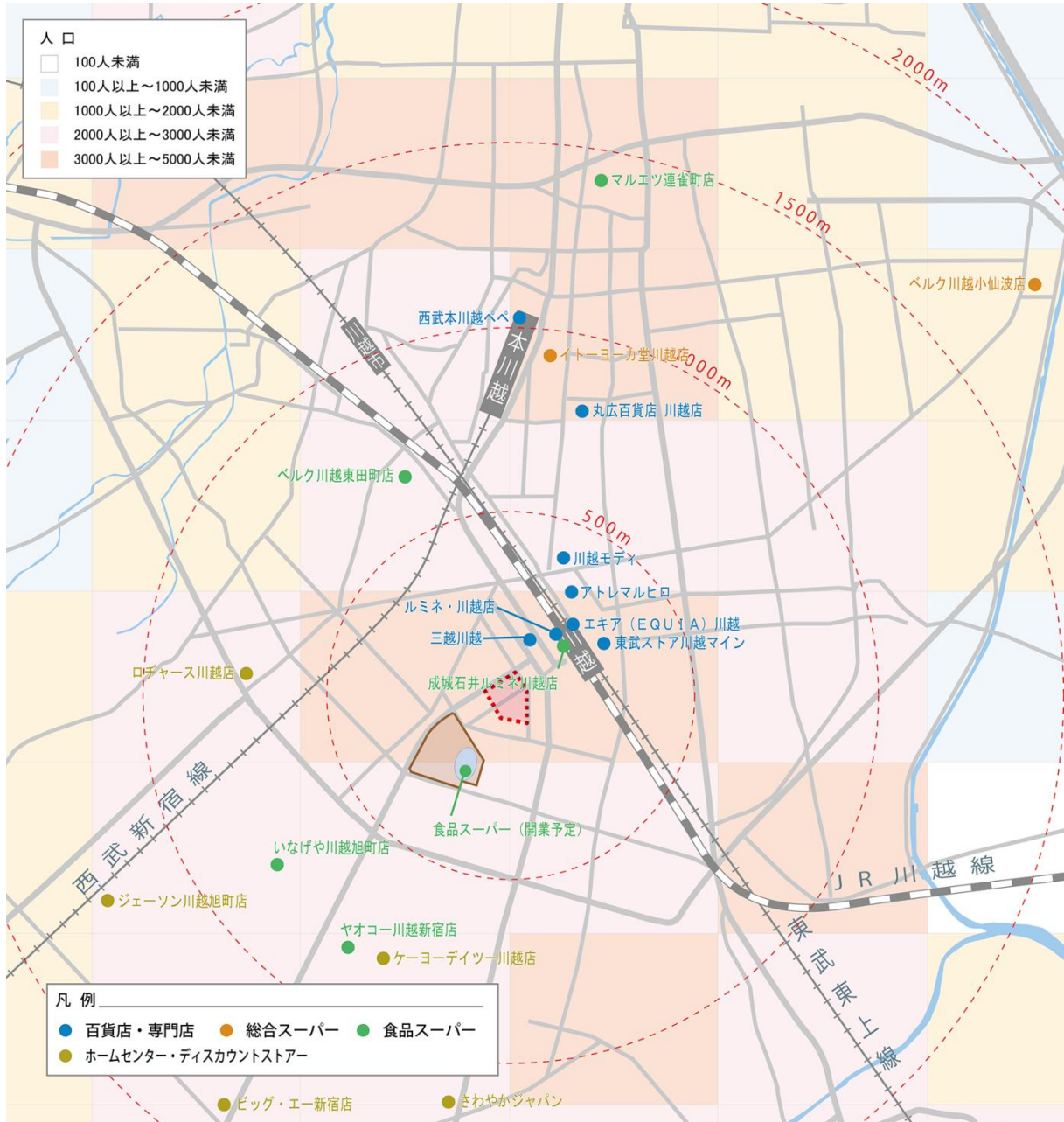


図. 川越駅周辺にある商業施設

3. 導入機能について

本日の議論の参考とするため、川越駅西口まちづくりの方向及び施設の立地状況を踏まえ、市有地利活用にあたって、考えられる導入機能や施設の例について、以下に示す。

表. 市有地で考えられる機能とその施設例について

機能（例）	施設（例）
交通結節点、交通アクセス	バス乗降場、自転車駐車場
オープンスペース	公園等、児童遊園
行政	行政窓口
生涯学習	図書館、自習室
地域交流	市民活動支援施設
医療サービス	病院、診療所、クリニック
健康増進	フィットネスクラブ、スポーツクラブ
高齢者福祉	介護施設、デイサービス施設等
子育て支援	幼稚園、保育園、家庭保育室、学童保育室、児童館
商業・業務	飲食施設、物販機能、宿泊施設
産業振興	産業振興施設、就労支援施設、創業支援施設
居住	マンション

参考) 利用客から想定される導入機能

利用者	導入が考えられる主な機能	キーワード（例）
学生	生涯学習機能（学び・遊びの場、街なかの居場所） 商業機能（飲食・物販）	元気な若者 まちの賑わい
社会人	商業機能（飲食・物販） 健康増進機能	健康志向（メタボリック症候群）、日々の活力
子育て・ファミリー世代	子育て支援機能 地域交流機能	人・環境にやさしい
高齢者	医療サービス機能・高齢者福祉機能 地域交流機能	生涯現役、生きがい 健康志向
観光客	商業機能（飲食・物販・宿泊）	「おもてなし」 川越市の物産・おみやげ

参考)

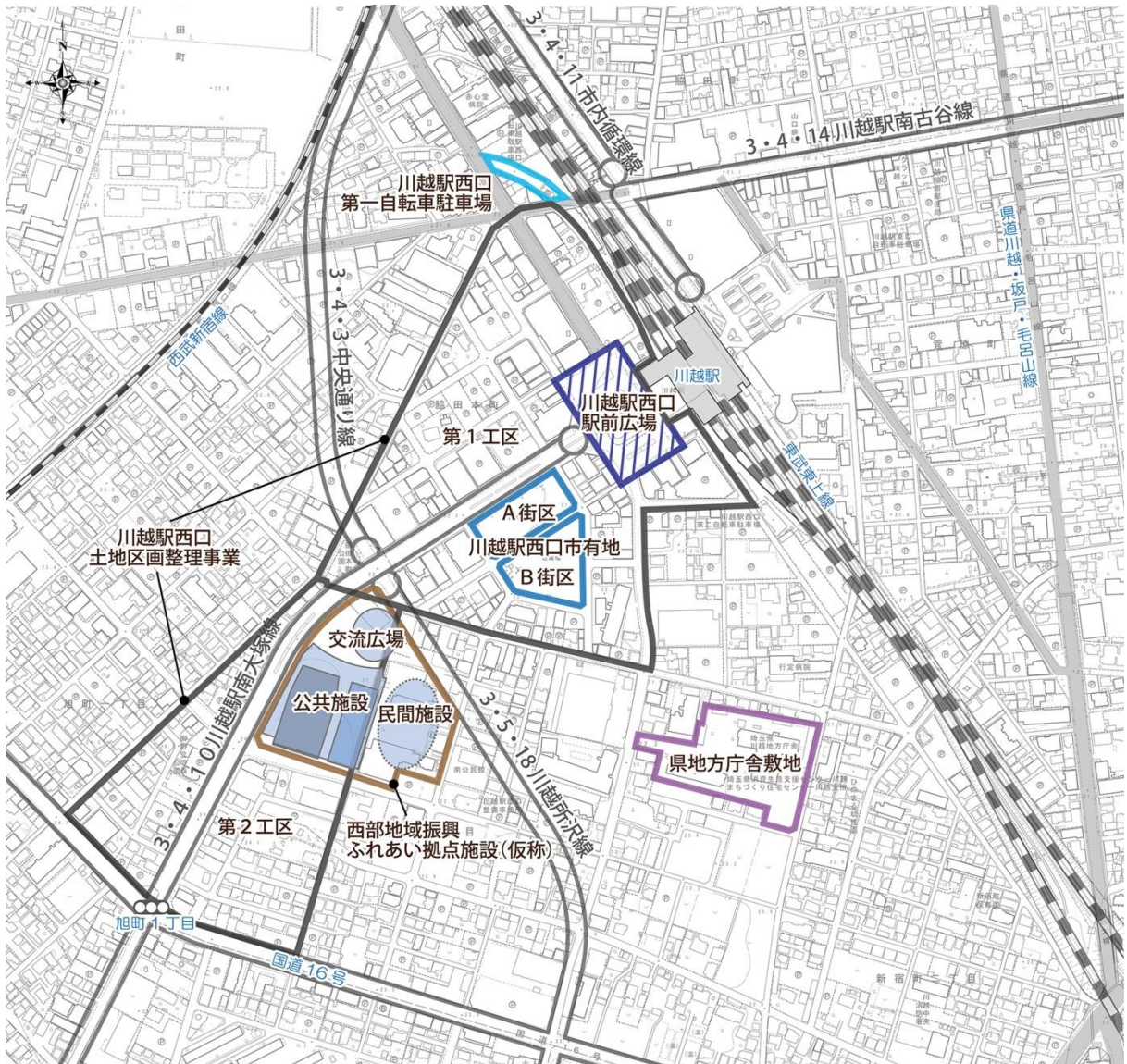


図. 川越駅西口周辺図